

Creating the Future Creating the Future Creating the Future

The logo for CMK, consisting of the letters 'C', 'M', and 'K' in a bold, orange, sans-serif font. The 'C' is the largest and most prominent, with 'M' and 'K' positioned to its right.

## 第45期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

**日本シイムケイ株式会社**

証券コード：6958



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第45期の事業報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶かたがた当連結会計年度の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半におきましては、輸出や民間設備投資の伸びとともに、個人消費の緩やかな改善に支えられ、回復基調となりましたものの、年度後半におきましては、個人消費の伸び悩みによる各種在庫調整のなか、景気の減速感が高まってまいりました。また、世界経済においては、米国及び中国経済の減速懸念や、原油価格の高騰と一次産品の価格上昇などにより、不安定な状況ではありましたが、景気の減速までは至らず、概ね堅調に推移いたしました。

当社グループの属するプリント配線板業界は、在庫調整による需要の減少及び各種材料の値上げなどのマイナス要因がありましたものの、自動車関連機器向け製品、薄型テレビをはじめとしたデジタル映像関連機器向け製品など、好調な製品の需要に支えられ、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、グローバル営業体制を強化するとともに、中国での生産能力強化、高付加価値製品の積極的な受注活動を行い、また、一方で事業再構築に注力いたしました結果、当連結会計年度の業績は増収、増益となりました。

株主配当金につきましては、1株につき5円（中間配当金5円とあわせて10円配当）とさせていただきます。

依然として不透明な経済環境下ではございますが、経営課題の達成と企業価値の向上に向けて全力を挙げてまいりますので、株主のみなさまにおかれましても、何卒、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長

中山高広

## トップインタビュー

## Q 当期の業績及び次期の見通しについて

説明してください。

A 当期において、当社グループは、グローバル営業体制を強化するとともに、中国での生産能力強化、高付加価値製品の積極的な受注活動及び事業再構築、固定費の圧縮、徹底したコストダウンに努めてまいりました。結果として、売上高、経常利益、当期純利益ともに前期を上回り、利益項目は過去最高となりました。また、事業再構築のひとつとして不採算事業でありましたヨーロッパでの片面プリント配線板生産事業の撤退を実施するとともに、固定資産減損会計の早期適用など、財務体質の健全化を推進いたしました。これらにより大きな損失を計上したものの、将来の収益力強化が図られたものと考えております。

次期の見通しにつきましては、リスク要因として原材料価格の高騰、米国及び中国経済の減速懸念などが存在し、依然として経営環境は予断を許さない状況にありますものの、薄型テレビをはじめとしたデジタル映像関連機器や携帯電話機などのデジタル端末機器、電子装備化が進む自動車関連機器を中心として、在庫調整の進展による需要拡大が期待されております。

当社グループは、今後においても戦略的な受注活動を行う一方、さらなる事業再構築、固定費の圧縮、徹底したコストダウンを推進するとともに、次世代機器に対応できる技術力を強化し、当社グループの強みでありますグローバル生産販売体制を強化してまいります。

## Q 海外グループ会社における

今後の戦略について教えてください。

A 海外グループ会社では、中国地域におきまして、両面・多層貫通プリント配線板、ビルドアップ多層プリント配線板を中心に好調な需要が期待されることから、生産体制の強化を行いつつ、中国において今まで培ってきたお客様の信頼をより強固なものにしてまいります。ま

た、東南アジア地域におきましては、ヨーロッパでの生産事業撤退にともない、片面プリント配線板生産拠点の一極集中を達成し、合理化を推進するとともに、中国生産品の輸入販売にも注力してまいります。いずれの地域におきましても中期的な視野に立った戦略を推進し、将来の当社グループの収益向上に寄与させるべく、積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

## Q 中長期的な経営ビジョンを教えてください。

A 選択と集中により、経営資源を高付加価値製品に重点的に投下し、国内における次世代プリント配線板の開発及び量産化を推進するとともに、お客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応できる体制を確立し、将来有望と思われる市場にタイムリーに対応できる会社にしてまいります。一方、市場のグローバル化による国際競争を勝ち抜くため、海外事業展開を積極的に推進し、グローバル企業としてお客様の大きな信頼を得ることにより、電子部品業界のトップ企業を目指してまいります。

## Q 製品開発の状況について教えてください。

A デジタル機器、情報通信機器を中心として従来以上の高密度実装を実現すべく微細化を進めております。具体的には、0.4mmピッチCSP対応のビルドアップ多層プリント配線板の開発を行い、量産段階に達しております。また、各種機器において昨今要求の高い薄型化に対応するため、従来より格段に薄型化したパッケージ、モジュール用途のプリント配線板の開発・実用化を進めております。飛躍的な電子部品の高密度・高速・高機能化の一環としては、抵抗、キャパシタなどを基板の中に内蔵するエンベデッド基板の開発とともに、能動素子であるLSIを内蔵する「EWLP」をカシオ計算機様と共同開発し、量産開始段階に達しております。また、今後ますます電子制御化が進む自動車用基幹部品として高放熱・高耐熱基板の開発を進め、採用も進みつつあります。

フィナンシャルハイライト（連結）

		第43期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	第44期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	第45期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	(百万円)	111,744	115,366	116,031
営業利益	(百万円)	703	9,212	10,442
経常利益または経常損失 (△)	(百万円)	△393	9,240	11,481
当期純利益または当期純損失 (△)	(百万円)	△1,057	4,612	5,319
総資産	(百万円)	154,271	134,263	130,514
株主資本	(百万円)	46,205	51,024	59,701
1株当たり当期純利益または当期純損失 (△)	(円)	△20.16	87.12	99.63
1株当たり株主資本	(円)	883.26	975.88	1,077.70
ROE	(%)	△2.2	9.5	9.6
ROA	(%)	0.6	6.5	8.0



## 売上高情報（連結）

## 用途別売上高情報

用途別の売上高につきましては、自動車搭載用機器（カーエレクトロニクス）及び液晶テレビ、プラズマディスプレイなどのデジタル映像機器が好調に推移いたしました。特に自動車搭載用機器は、金額ベースで

前期比19%の伸びとなりました。今後も自動車、映像、通信の各分野を重点市場と位置づけ、戦略的に取り組んでまいります。

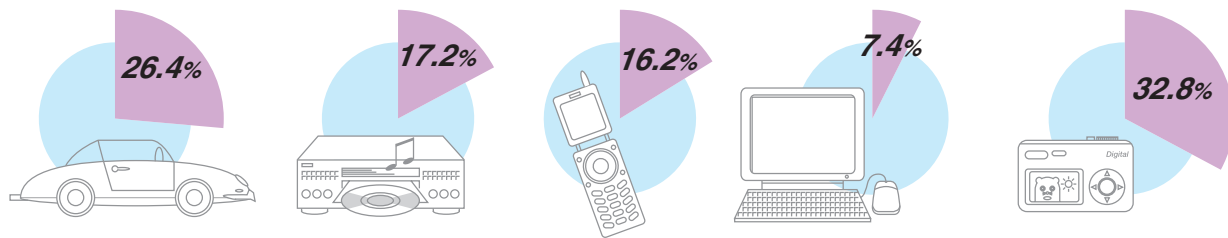
## 自動車搭載用機器

## AV機器

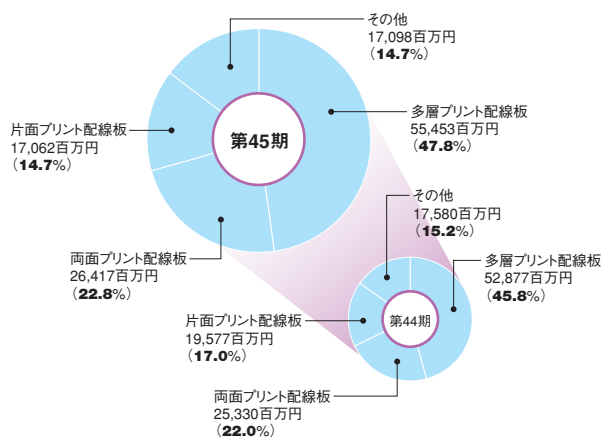
## 移動体通信機器

## 情報機器

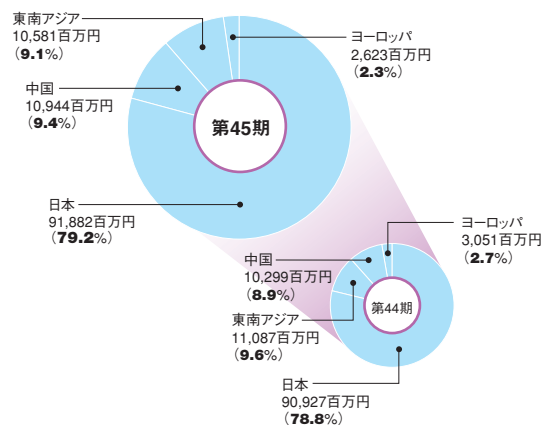
## その他



## 品目別売上高情報



## 所在地別売上高情報





# ジェイティシイエムケイ株式会社 誌上見学



ジェイティシイエムケイ株式会社（JTCMK）は新潟県長岡市にあり、現在250人の社員が働いています。車に搭載されるボディコントロールユニットやメーターパネル、薄型テレビ用などのプリント配線板を生産しており、今後もますます需要増加が見込まれます。昨年の新潟県中越地震で被害を受けましたが、早期に復旧したJTCMKをご紹介します。

## 会社の概要

JTCMKは、昭和63年に当社と日本たばこ産業（JT）の共同出資により設立されました。

工場は、元日本専売公社長岡工場であり、昭和45年に新潟県長岡市関原町から現在の長岡市寺島町に移転しました。この場所は国道8号線沿いであり、関越自動車道長岡インターチェンジから約5分と交通の便が良いところに位置しています。

当社のプリント配線板製造における業界屈指のノウハウとJTの工場と人材、そしてたばこ作りで培った管理手法が融合することにより、高品質のプリント配線板を市場に供給することが可能となりました。

設立当時のプリント配線板業界は、作れば売れる状態で、押せ押せの熱気の中、JTCMKは順調に生産量を伸ばし、CMKグループの中核企業となりました。



自動車メーター用  
プリント配線板

## 生産品目

従来は家電製品やオーディオ、ビジュアル製品向けのプリント配線板が主な生産品目で



JTCMKの誇る穴あけ単軸機ライン

あったものの、昨年より自動車機器向けのプリント配線板の生産を増やし、現在ではその生産量が全体の約40%を占める状況となっております。

自動車産業向けに求められる高い品質を達成し、ジャスト・イン・タイムのサプライチェーンに対応できたのは、当社のプリント配線板の製造ノウハウとJTのたばこ作りの管理手法の融合の結果であります。

設備面においては、多層プリント配線板の生産に必要な積層プレス工程を持つことにより、受注から出荷まで社内で一貫生産ができるのが、JTCMKの強みとなっております。

また、穴あけ工程は、単軸機（スピンドルが1本だけの機械。これに対し、6本や8本の複数のスピンドルを持つものが多軸機）を連結したライン構成となっており、少量多品種の要求にも応えられるフレキシブルな生産体制を確立しております。

## 新潟県中越地震

平成16年10月23日午後5時56分、新潟県中越地方を最



排水処理施設：  
奥に破壊された導水管が見える

大震度7の大地震が襲いました。いわゆる新潟県中越地震です。土曜日の夕方でしたがJTCMKは稼

動しており、社員は混乱のなかグラウンドに避難しました。

JTCMKはこの地震により、大きな被害を受けました。人的被害こそありませんでしたが、生産設備においては排水処理施設を損傷し、一時生産中止に追い込まれました。また、工場建屋の柱や壁にはヒビが入り、プレス金型の落下などが見受けられました。

度重なる余震、交通網の遮断、ライフラインの寸断などが工場の復旧を妨げました。しかし、工場近辺は停電を免れており、また、井戸水を使用していることもあり、まもなく一部は生産可能な状態となりました。しかしながら、全ての社員が生活の基盤を脅かされ、また、社員の6割の自宅が損傷いたしました。

そのような状況の中、“お客様にご迷惑をかけない”という強いプロ意識のもと、高い出勤率をもって、被災後7日目には通常通りの生産を開始いたしました。

夏の豪雨、新潟県中越地震、そして19年ぶりの大雪にも見舞われ、昨年度は多くの自然災害がJTCMKに試練を与えましたが、一致団結し課題を乗り越え、春を迎えております。

## 今後の方針

多様化するお客様のニーズに迅速に対応し、“より良く、より早く、より安く”をモットーとして、お客様に満足していただき、お客様に選ばれる会社を目指し、生産活動を展開してまいります。

CMKグループ並びにJTCMKに対し、倍旧のご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

## CMK TOPICS

### 放熱性に優れた金属複合基板(CMK-COMP)を開発、2004年より自動車に搭載

当社では近年、進展を遂げております自動車エレクトロニクスの旺盛な需要に応えるため、自動車搭載用プリント配線板の開発に特に注力しております。増え続ける電子機器をエンジンルームに移し、快適な車室空間を確保する要求に応えるべく、高放熱金属複合基板（CMK-COMP）を開発いたしました。プリント配線板内部に厚銅を配した銅コア基板は放熱性に優れ、大電流回路と制御回路の共存を必要とするバイワイヤー技術実現



厚銅コア基板の断面写真

のための基板に適しています。また、自動車機器に不可欠である長期間にわたる高信頼性を確保しており、2004年より実車に搭載されております。

## ENVIRONMENTAL PROTECTION

### 希門凱電子（無錫）有限公司でISO14001を取得

当社グループの中国での多層プリント配線板の生産拠点である希門凱電子（無錫）有限公司（江蘇省無錫市）において、2004年11月にISO14001を取得いたしました。また、製品の環境対策として2006年7月に施行が控えている欧州RoHS指令（ローズ指令：電気電子機器に含まれる鉛、カドミウムなどの特定有害物質の使用制限）やお客様からの環境配慮に関する要求に対応するために、環境負荷物質管理システムの構築・運用を推進しております。社内においては、節水・シンナー使用率削減など、細部にわたり目標値を設定し、その達成に向けて活動しております。



## 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 平成17年3月31日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	62,374	58,042
現金及び預金	18,142	13,276
受取手形及び売掛金	31,527	32,522
有価証券	113	103
たな卸資産	8,518	9,555
繰延税金資産	743	773
その他	3,380	1,830
貸倒引当金	△ 52	△ 20
固定資産	68,139	76,200
有形固定資産	53,006	59,260
建物及び構築物	24,934	28,203
機械装置及び運搬具	14,697	15,962
土地	12,136	13,690
建設仮勘定	511	654
その他	726	750
無形固定資産	2,160	2,470
投資その他の資産	12,972	14,469
投資有価証券	10,341	9,451
長期貸付金	102	2,236
繰延税金資産	1,523	1,271
その他	2,686	2,597
貸倒引当金	△ 1,681	△ 1,087
繰延資産	—	20
資産合計	<b>130,514</b>	<b>134,263</b>

	当期 平成17年3月31日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	43,454	36,422
支払手形及び買掛金	11,466	13,270
短期借入金	12,212	10,965
一年内償還予定社債	100	—
一年内償還予定転換社債	7,978	—
未払金	7,159	7,573
未払法人税等	1,324	1,476
賞与引当金	910	832
その他	2,303	2,304
固定負債	22,377	42,007
社債	5,500	5,600
転換社債	—	12,308
長期借入金	15,225	22,636
退職給付引当金	290	204
役員退職引当金	560	621
その他	801	637
負債合計	<b>65,832</b>	<b>78,430</b>
<b>(少数株主持分)</b>		
少数株主持分	<b>4,980</b>	<b>4,809</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	18,332	16,167
資本剰余金	18,089	15,924
利益剰余金	27,737	22,889
その他有価証券評価差額金	1,149	852
為替換算調整勘定	△ 3,532	△ 3,202
自己株式	△ 2,075	△ 1,607
資本合計	<b>59,701</b>	<b>51,024</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	<b>130,514</b>	<b>134,263</b>



## ■ 主要な連結子会社

### ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	116,031	115,366
売上原価	94,998	95,491
売上総利益	21,032	19,874
販売費及び一般管理費	10,590	10,661
営業利益	10,442	9,212
営業外収益	2,048	2,152
営業外費用	1,009	2,124
経常利益	11,481	9,240
特別利益	274	534
特別損失	4,945	4,161
税金等調整前当期純利益	6,809	5,613
法人税、住民税及び事業税	2,006	1,643
法人税等調整額	△ 405	36
少数株主損失 (△)	△ 110	△ 678
当期純利益	5,319	4,612

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,192	12,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,951	△ 810
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,234	△ 26,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	△ 194
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	4,992	△ 15,064
新規連結に伴う現金等の増加額	—	45
現金及び現金同等物の期首残高	12,959	27,977
現金及び現金同等物の期末残高	17,951	12,959

#### 国内

- シイエムケイメカニクス株式会社
- 日本シイエムケイマルチ株式会社
- 株式会社シイエムケイ回路設計センター
- エスイープロダクツ株式会社
- 日本シイエムケイニガタ株式会社
- シイエムケイファイナンス株式会社
- シイエムケイパッケージテック株式会社
- 株式会社山梨三光
- シイエムケイ蒲原電子株式会社
- ジェイティシイエムケイ株式会社
- ワコーエレクトロニクス株式会社
- 日本エスアイシイ株式会社

#### 海外

- 新昇電子(香港)有限公司
- 旗利得電子(東莞)有限公司
- 希門凱電子(無錫)有限公司
- CMK EUROPE N.V.
- CMK SINGAPORE(PTE.)LTD.

## 単独財務諸表

## ■ 単独貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 平成17年3月31日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	51,174	49,484
現金及び預金	13,586	9,989
受取手形	1,951	3,152
売掛金	25,904	25,019
たな卸資産	2,968	3,578
短期貸付金	4,755	5,226
繰延税金資産	544	614
その他	1,472	1,913
貸倒引当金	△ 9	△ 10
固定資産	54,082	59,874
有形固定資産	28,705	31,793
建物	13,740	14,520
機械及び装置	3,226	4,128
土地	10,512	11,678
その他	1,226	1,465
無形固定資産	1,139	1,496
投資その他の資産	24,238	26,584
投資有価証券	5,898	5,342
関係会社株式	11,781	12,160
関係会社出資金	3,914	3,684
長期貸付金	290	2,504
繰延税金資産	1,539	1,618
その他	2,488	2,347
貸倒引当金	△ 1,675	△ 1,072
繰延資産		20
<b>資産合計</b>	<b>105,257</b>	<b>109,379</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	24,622	16,025
支払手形	977	1,111
買掛金	6,031	6,388
一年内返済予定長期借入金	6,093	4,319
一年内償還予定転換社債	7,978	—
未払法人税等	569	1,106
賞与引当金	426	386
その他	2,545	2,712
固定負債	20,280	38,966
社債	5,500	5,500
転換社債	—	12,308
長期借入金	14,112	20,198
役員退職引当金	440	526
その他	227	433
<b>負債合計</b>	<b>44,903</b>	<b>54,991</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	18,332	16,167
資本剰余金	18,089	15,924
資本準備金	18,089	15,924
利益剰余金	24,886	23,091
利益準備金	984	982
任意積立金	21,250	20,000
当期末処分利益	2,651	2,109
その他有価証券評価差額金	1,121	812
自己株式	△ 2,075	△ 1,607
<b>資本合計</b>	<b>60,354</b>	<b>54,388</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>105,257</b>	<b>109,379</b>

## ■ 単独損益計算書

(単位：百万円)

	当期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
売上高	91,242	90,718
売上原価	79,037	80,256
売上総利益	12,204	10,462
販売費及び一般管理費	6,695	6,302
営業利益	5,509	4,160
営業外収益	3,090	2,885
営業外費用	1,617	2,597
経常利益	6,983	4,448
特別利益	183	427
特別損失	3,644	2,536
税引前当期純利益	3,521	2,339
法人税、住民税及び事業税	1,114	1,131
法人税等調整額	△ 16	212
当期純利益	2,423	996
前期繰越利益	1,027	1,373
合併に伴う剰余金引継額	△ 798	—
中間配当積立金取崩額	261	—
中間配当額	262	260
当期末処分利益	2,651	2,109

## ■ 利益処分

(単位：百万円)

	当期	前期
当期末処分利益	2,651	2,109
これを次のとおり処分します。		
株主配当金	276	261
1株につき	(5円)	(5円)
役員賞与金	80	60
任意積立金		
中間配当積立金	276	261
別途積立金	1,000	500
<b>次期繰越利益</b>	<b>1,017</b>	<b>1,027</b>

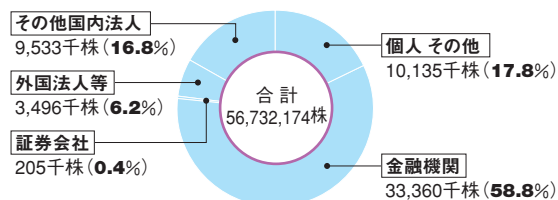
## 株式情報 (平成17年3月31日現在)

■ 会社が発行する株式の総数	199,871,000株
■ 発行済株式の総数	56,732,174株
■ 株主数	3,863名
■ 大株主 (上位10名)	

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,946	15.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,062	7.1
第一生命保険相互会社	2,845	5.0
中山登	2,652	4.6
株式会社みずほコーポレート銀行	2,576	4.5
財団法人電子回路基板技術振興財団	2,500	4.4
松下電工株式会社	1,860	3.2
みずほ信託退職給付信託日立化成工業口 再信託受託者資産管理サービス信託	1,822	3.2
みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	1,745	3.0
株式会社三井住友銀行	1,613	2.8

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の持株数のうち、投資信託など同社が信託を受けている株式を除く実質所有株式数は101千株(出資比率0.1%)であります。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数のうち、投資信託など同社が信託を受けている株式を除く実質所有株式数は1,429千株(出資比率2.5%)であります。
3. 当社は、株式会社みずほコーポレート銀行の完全親会社である株式会社みずほフィナンシャルグループの普通株式773株(出資比率0.0%)、優先株式1,000株(議決権なし)を保有しております。
4. みずほ信託退職給付信託日立化成工業口再信託受託者資産管理サービス信託1,822千株は、日立化成工業株式会社の信託財産であります。なお、日立化成工業株式会社への当社の出資状況は、平成17年3月31日現在50千株(出資比率0.0%)であります。
5. みずほ信託退職給付信託東京都民銀行口再信託受託者資産管理サービス信託1,745千株は、株式会社東京都民銀行の信託財産であります。なお、株式会社東京都民銀行への当社の出資状況は、平成17年3月31日現在401千株(出資比率1.0%)であります。
6. 当社は、株式会社三井住友銀行の完全親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループの普通株式267株(出資比率0.0%)を保有しております。

## ■ 持株数別株式分布状況



## 会社概要 (平成17年3月31日現在)

■ 商号	日本シイエムケイ株式会社 (証券コード6958 日本CMK)
■ 設立	昭和36年2月25日
■ 資本金	183億3,222万5,420円
■ 本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
■ 従業員数	1,354名 (従業員数は就業人員であり、受入出向者182名を含み、出向者633名は含まれておりません。)

## ■ 役員 (平成17年6月29日現在)

取締役	取締役会長	中山登
	代表取締役社長	中山高広
	執行役員会議長	中山高広
	取締役執行役員常務	服部幹彦
	取締役執行役員常務	兼本国昭
取締役執行役員常務	取締役執行役員常務	西国男
	取締役執行役員	山口勉
	常勤監査役	秋山伸夫
監査役	監査役	高橋秀明
	監査役	武井紀之
執行役員	執行役員	上遠野臣司
	執行役員	近藤定信
	執行役員	高井建郎
	執行役員	中山博允
執行役員	執行役員	伊藤和博

## ■ 株主メモ

決算期日 毎年3月31日  
定時株主総会 決算期の翌日から3か月以内に開催  
配当金支払株主確定日 毎年3月31日及び中間配当金の支払を行うときは9月30日  
名義書換手数料 無料  
公告掲載新聞 日本経済新聞  
貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス <http://www.cmk-corp.com>

## ■ 株式の事務手続に関するお問い合わせ

名義書換代理人 日本証券代行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店

### 郵便物送付先 お問い合わせ先

〒103-8202  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-707-842  
(その他のご照会) ☎ 0120-707-843

同 取 次 所 日本証券代行株式会社 全国各支店

株式お手續用紙のご請求をインターネットでも受付しております。

ホームページアドレス  
<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)



<http://www.cmk-corp.com>

# CMK

〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号  
新宿アイランドタワー43F  
TEL.03-5323-0231 (大代表)



本報告書は、環境保全のため、古紙100%再生紙を使用し、「大豆油インキ」で印刷しています。